

YAMASHIRO CHIKAKO

山城知佳子

Reframing the land/mind/body-scape

2021年8月17日[火]—10月10日[日]

東京都写真美術館 | 地下1階展示室(恵比寿カーデンプレイン内)

開館時間 | 10:00—18:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館)

観覧料 | 一般700円 / 学生560円 / 中高生・65歳以上350円

小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料
本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。

事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

主催 | 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 日本経済新聞社

助成 | 公益財団法人 花王芸術・科学財団

TOP MUSEUM

文化でつながる。未来をつなげる。
THE FUTURE IS ART

Tokyo Tokyo
FESTIVAL

山城知佳子

Reframing the land/mind/body-scape

リフレーミング

YAMASHIRO CHIKAKO

映像・写真を主たるメディアとして、2000年代から精力的に作家活動を進めてきた山城知佳子(1976-)は、生まれ育った沖縄の歴史や地政学的状況と自身との関係に向き合うことを通じて、見過ごされ聞き過ごされてきた声や肉体、魂を伝える作品を手掛け、国内外で高く評価されてきました。山城が生み出す映像は、見る者の身体感覚に訴えかけるイメージの豊饒さと詩性、そして同時代を見つめる批評的な視点を絶妙なバランスであわせ持つのがゆえに、沖縄という特定の地域の問題に留まらず、より広い文脈での読み込みや解釈に開かれています。公立美術館初個展となる本展では、初公開となる山城の最新作を、収蔵作品を中心とした過去の代表作品と組み合わせて紹介します。単に時系列に沿って作品の変遷をたどるのではなく、相互に共鳴する主題やモチーフの連なりを、展示室内を回遊しながら巡る構成とします。「リフレーミング」とは、ものごとを見ている枠組みを変え、別の枠組みで見直すことを指しており、写真・映像によって故郷沖縄の風景を新たな視点でとらえなお見つけていくという、山城作品に通底する姿勢を象徴します。本展は、映像アーティスト・山城知佳子のミッドキャリア個展として、その作品世界を総覧するはじめての本格的な機会となります。

会期中に関連事業を予定しております。
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

表、1-3 ▶ リフレーミング 2021 [新作インスタレーション] | 4 ▶ BORDER 2002 シングルチャンネル・ビデオ 東京都写真美術館蔵 | 5 ▶ アーサ女 2008 ヴィデオ・インスタレーション 作家蔵 | 6-7 ▶ 黙認のからだ 1・2 2012 発色現像方式印画 東京都写真美術館蔵 | 8 ▶ 土の人 2016 3チャンネルビデオ・インスタレーション 東京都写真美術館蔵

図版すべて © Chikako Yamashiro Courtesy of Yumiko Chiba Associates



4、5、6-7



東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

至 渋谷 JR恵比寿駅 日比谷線恵比寿駅 1番出口

東口 動く通路

恵比寿ガーデンプレイス

TOP MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp

JR 恵比寿駅東口より徒歩約 7 分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約 10 分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



1

2

3

8